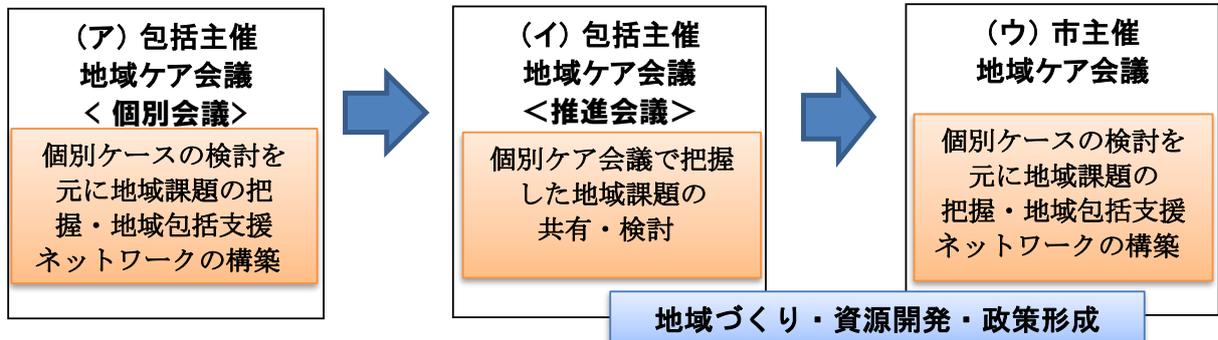


地域包括支援センターが把握した主な地域課題について

＜地域ケア会議の会議形態＞

市内7カ所の地域包括支援センターでは、包括主催の地域ケア会議（個別会議・推進会議）を開催し、個別ケースの検討を通じた地域課題の把握、および課題解決へ向けた検討を行い、また全市的な取り組みが必要な課題については、市主催の地域ケア会議で検討を行うこととしています。



地域包括支援センターが把握した主な地域課題（令和7年12月末）

地域課題
<ul style="list-style-type: none"> ・社会資源がとても少ないため、地域で見守りの必要性が高い ・地域内での移動手段が少なく、身寄りのない方は外出しにくい ・支援が必要な方を早い段階で発掘するためのネットワークシステムの構築 ・関係機関の他、他業種の意見を取り込み連携できるシステムの構築 ・金銭管理が必要な高齢者や身寄りがない高齢者の増加。成年後見制度利用の正しい理解を普及啓発 ・生活困窮する高齢者の支援策として、障害福祉サービス就労支援等を利用可能なシステムの構築 ・高齢化に伴い、既存の地域団体だけでは地域コミュニティは保てない段階にきている ・認知症施策の仕組みに限らず、困った時どこに相談したらよいかを知らない地域住民へ、窓口としての包括の存在があることへの周知を継続していく